



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場会社名 東京鋼鐵株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5448 URL <http://www.kohtetsu.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南 良隆
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長兼総務部長 (氏名)小口 芳一 TEL (0285) 22-1335
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,943	△1.9	460	14.5	474	11.5	299	18.9
23年3月期第1四半期	4,021	40.6	402	93.2	425	95.6	252	98.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17 21	— —
23年3月期第1四半期	14 48	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,984	13,141	73.1
23年3月期	18,552	12,911	69.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 13,141百万円 23年3月期 12,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	4 00	— —	4 00	8 00
24年3月期	— —				
24年3月期(予想)		5 00	— —	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日別途公表致しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,900	7.7	640	△10.1	660	△12.2	400	△10.5	22 98
通期	16,300	9.0	1,470	8.5	1,500	5.5	830	5.9	47 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	17,446,000株	23年3月期	17,446,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	32,538株	23年3月期	32,538株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	17,413,462株	23年3月期1Q	17,413,605株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響により甚大な人的・物的損失により、回復基調にあった景気は急速に悪化し、生産活動、輸出等に大きな打撃を受けました。その後、一部には景気回復の兆しが見えてきたものの回復力は弱く、円高及び雇用・消費の低迷を背景に景気減速懸念が高まり、先行き不透明な経営環境となりました。

当社の属する普通鋼電炉業界におきましては、緩やかな景気回復局面ではあるものの、企業収益の低迷による設備投資の減少の影響から国内の鋼材需要は依然として低調に推移し、また大震災後の電力不足等の外部環境の不安要素も多く、今後も予断を許さない状況であります。

こうした状況のもと当社では、コスト競争力の強化に努め、きめ細かな顧客対応を行い、適正な製品販売価格を模索するとともに海外への鋼片販売を積極的に行ってまいりました。しかし、内外の経営環境は厳しい状況が続く、本格的な回復までには時間を要するものと思われまます。

当社といたしましては、引き続き今後の市場動向を慎重に見極めながら、需要見合いの製造、徹底したコスト削減と付加価値創造による拡販策を成長戦略として取り組んでまいり所存であります。

当第1四半期の業績は以下の通りです。

①売上高

国内鋼材需要が依然として低水準の中、拡販に努めましたが、鋼片輸出数量が伸び悩み、また円高の影響もあり販売価格が低下し、売上高は前年同期間比77百万円減少(△1.9%)し3,943百万円となりました。

②営業利益

鉄スクラップ価格が下落したことによりメタルスプレッドが増加したことに加え、様々な管理費削減や製造原価見直しを継続的に行ったことにより、営業利益は前年同期間比58百万円増加(14.5%)し460百万円となりました。

③経常利益

営業利益の増加に加え、営業外収支の改善により前年同期間比48百万円増加(11.5%)し474百万円となりました。

④四半期純利益

法人税等を差し引いた結果、経常利益の増加により、前年同期間比47百万円増加(18.9%)し299百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ397百万円減少(△4.9%)し7,765百万円となりました。これは、夏季工事における加熱炉更新による生産減少分を前倒しで生産したため、商品及び製品が680百万円増加したものの、法人税等の納税と短期借入金の返済をしたため預け金が1,690百万円減少したこと等によります。固定資産につきましては、減価償却費相当分が減少し、前事業年度末に比べ170百万円減少(△1.6%)し、10,218百万円となりました。

これにより、総資産は前事業年度末に比べ568百万円減少(△3.1%)し、17,984百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ777百万円減少(△21.2%)し2,897百万円となりました。これは、法人税等の納税と短期借入金の返済等によるものです。

固定負債は、借入金の返済により長期借入金が25百万円減少(△8.9%)したことにより、1,944百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ798百万円減少(△14.2%)し4,842百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ230百万円増加(1.8%)し13,141百万円となりました。これは、純利益計上により利益剰余金が299百万円増加したことと、平成23年6月29日開催の株主総会決議における期末配当金により剰余金が69百万円減少したことによります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、本日別途公表致しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

ア：税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,075	588,080
受取手形及び売掛金	3,130,393	3,343,725
商品及び製品	1,029,487	1,710,400
原材料及び貯蔵品	589,640	485,559
預け金	3,210,000	1,520,000
その他	120,610	117,852
流動資産合計	8,163,207	7,765,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,112,430	1,092,399
機械装置及び運搬具 (純額)	3,705,032	3,632,718
土地	4,543,990	4,543,990
その他 (純額)	565,873	458,868
有形固定資産合計	9,927,326	9,727,976
無形固定資産	50,130	79,231
投資その他の資産	412,275	411,556
固定資産合計	10,389,731	10,218,764
資産合計	18,552,939	17,984,383
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,418,837	1,364,221
短期借入金	717,725	249,024
未払法人税等	439,639	214,816
引当金	186,372	96,998
その他	913,258	972,788
流動負債合計	3,675,832	2,897,848
固定負債		
長期借入金	280,000	255,000
引当金	165,160	107,603
その他	1,520,467	1,582,356
固定負債合計	1,965,628	1,944,959
負債合計	5,641,460	4,842,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,453,000	2,453,000
資本剰余金	981,690	981,690
利益剰余金	7,272,383	7,502,480
自己株式	△13,083	△13,083
株主資本合計	10,693,990	10,924,087
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	2,217,488	2,217,488
評価・換算差額等合計	2,217,488	2,217,488
純資産合計	12,911,478	13,141,575
負債純資産合計	18,552,939	17,984,383

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,021,327	3,943,364
売上原価	3,358,420	3,230,674
売上総利益	662,907	712,689
販売費及び一般管理費	260,604	252,066
営業利益	402,302	460,622
営業外収益		
受取利息	2,023	734
仕入割引	6,885	10,160
その他	17,635	6,905
営業外収益合計	26,543	17,800
営業外費用		
支払利息	2,100	1,276
売上割引	712	850
その他	617	1,991
営業外費用合計	3,430	4,117
経常利益	425,415	474,304
特別利益		
環境対策引当金戻入額	—	36,289
特別利益合計	—	36,289
特別損失		
固定資産除却損	3,353	15
特別損失合計	3,353	15
税引前四半期純利益	422,061	510,578
法人税等	169,856	210,827
四半期純利益	252,205	299,750

（3）継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当事項はありません。